

# 金利先物等金融先物取引の利便性向上策について(2007.01)

## 1. 金利先物取引時間の延長

ユーロ円3ヵ月金利先物のグローバル化や内外投資家の取引ニーズに対応し、金利先物取引について、取引開始時刻を現在より15分前倒しし、取引終了時刻を現在より2時間繰り下げます(計2時間15分間の延長)。

金融取の金利先物取引は、外国為替証拠金取引を除く国内取引所上場商品では、取引時間が最も長い先物・オプション取引となります。

現行 : 9時00分から18時00分(計8時間00分間) \*1

変更後 : 8時45分から20時00分(計10時間15分間) \*2

\*1(現行取引時間)

8時45分から9時00分	プレオープン(注文事前受付時間帯)
9時00分	取引開始
11時30分から12時30分	昼休み(取引時間外)
18時00分	取引終了

\*2(変更後)

8時30分から8時45分	プレオープン(注文事前受付時間帯)
8時45分	取引開始
11時30分から12時30分	昼休み(取引時間外)
20時00分	取引終了

- ・実施日 2007年2月5日(月)
- ・対象商品  
ユーロ円3ヵ月金利先物  
ユーロ円3ヵ月金利先物オプション  
5年円金利スワップ先物  
10年円金利スワップ先物

## 2. ユーロ円3ヵ月金利先物オプション取引活性化策

昨年の金融政策変更以降、短期金融市場における金利機能が回復しつつある機会を捉え、オプション市場の育成・整備を図るため、次のとおり、ユーロ円3ヵ月金利先物オプション取引活性化策を実施いたします。

# 金利先物等金融先物取引の利便性向上策について(2007.01)

## 【項目】

### (1) 定率手数料の引き下げ

国内外のユーロ円3ヵ月金利先物オプションの投資家からの要請に応え、取引所の取引参加者が支払う手数料(定率手数料)を現行の半額に引き下げます。

現行 : ユーロ円3ヵ月金利先物オプション 1枚 100円

変更後 : 同上 1枚 50円

### (2) 値付取引参加者制度(マーケットメーカー制度)の再開

定率手数料の引き下げに併せ、特定のオプション銘柄に一定の数量以上の売り呼び値、買い呼び値を提示するマーケットメーカー制度を再開します。

これにより、ユーロ円3ヵ月金利先物オプション取引の流動性が更に高まるとともに、オプション取引の約定機会も増加します。

・実施日 2007年1月29日(月)

以上